

やっ報

2016年 7月 15日 No114

発行 松本あきお後援会

(TEL (0847-82-2149))

<http://www.kagayakinete.net/~matumoto-313>

Eメール matumoto-313@sky.kagayakinete.net.jp



マツダスタジアムで油木高校がナマズ丼を販売

6月定例会

総額 7億600万円余を補正

豊松・とまと選果場の改修費など

6月定例会は、6月7日から16日まで開かれ、7億629万円の補正予算や、農業委員会の定数を定める条例改正等全ての議案を原案どおり可決しました。一般質問は、8人が行いました。

とまと選果場の改修費・3億7千500万円

産地パワーアップ事業で実施

豊松地区にあるトマト選果場を改修し、出荷能力を高める事になりました。

この選果場は、旧豊松村が、平成8年～9年にかけて整備したもので、老朽化も進んでいます。

新規就農者や栽培技術の向上などで生産量の増加が見込まれるため、国の「産地パワーアップ事業」の補助事業、3億7千500万円で改修するものです。

計画では、選別レーンを現在の2レーンから4レーンの選果機を導入して、1日当たり最大60トン(年間1,600トン)に対応できるようにになります。新しい選果機は、カメラ

等備え、大きさや形、色合いから36規格に分けることができます。

また、品質を保つための予冷庫2台も新設します。

新・農業人フェアで

新規就農者を募集

いつかは独立して農業を始めたい。転職先として農業を考えたい。と言う人のために「新・農業人フェア」と言うイベントが、東京・大阪・広島等で開かれます。募集したい自治体がブースを開けます。本町も、今年度は積極的に参加し、新規就農者を募集する予定です。

神石高原町豊とまと新規就農者

育成研修事業に6人応募

神石高原町では、新しくトマト栽培を始める人のために、新規就農者育成事業を取り組みます。この事業は、全国から公募し、応募された人を選考して2名を、青年就農給付金(国・補助事業)年150万円を支給。1～2年間農業公社で実践研修を行い、更に町が整備したハウズで1～2年間模擬経営をして、その後独立就農をするという事業です。

今年度は、全国から研修生を募集したところ6人が応募され、5人採用し、その内2人が国の青年就農給付金を受け研修されています。残りの3人は、町の新規就農者の補助金を受けて独立してトマト栽培に取り組んでいます。高齢化が進み、後継者が不足する中、新規就農者の確保は非常に力強く感じます。

届けます 暮らしの声を町政に



夢をかたちに

=責任ある実行力で=

ひき続き働かせて下さい。



願いがかないますように・こばたけ保育所・七夕祭り

あなたに代わって

おたずねしました。

松本議員の一般質問

①庁舎・病院の改築をどう引き継ぐのか

②補強の可能性について調査する

松本 災害が発生した時、役場に対策本部が設置されるが、本庁舎は耐震性を満たしていない。熊本地震でも、まさかと思いい耐震性の無い役場をそのままにおいて大きな被害を受けた町もある。

役場の改築については、新しい町長に託すと言われたが、新しい町長にどのように引き継がれるのか。

町長 本庁舎は、耐震診断の結果、町長室のある南館が耐震性がないと診断されている。

今後専門家に補強の可能性について調査してもらう。調査の結果、南館が補強できるなら補強するのがベストだと引き継ぐ。

松本 補強ができるか診断されても、建物全体が老朽している。

そして大型バスの通行も困難という地の利の悪さもある。

建て替えるか、あるいは位置が問題となる。合併協の申しわけは尊重しながら

ないが、合併後10年経過し、情勢の変化もある。全体的な視野に立って検討すべきではないか。

町長 専門家が、補強すれば10年以上震度の震災に耐えられると判断したら補強工事を行う。何が何でも補強工事をするというものではない。立替える場合、合併協の申しわけは尊重すべきと思う。

松本 以前の質問で、庁舎の新築は合併特例債が使える時に行つべきと答弁された。慎重に検討すべきだと思うが。

町長 熊本地震以降、考え方が変わってきた。活断層が無くても大丈夫と思われていた所でも災害が起きている。

本町は比較的災害が少ない所と思っているが安心はできないので慎重に検討したい。

南館が、補強工事しても耐えられないと判断された場合は、災害時の対策本部は、各支所に置くとか、2次的な方法も考えなくてはならない。

町立病院の改築は

松本 災害が起きた時被災した人を救済するためにも、町立病院は大きな役割を持つと思うが、町立病院も耐震性を満たしていない。

町立病院の改築については新しい町長にどう引き継ぐのか。

町長 災害時には町内の医療救護の要となる町立病院だが、耐震診断の結果では西館は耐震不足の結果が出ている。

本町の防災計画で、町立病院の役割は、医療等救護の実施、医療資材等



七夕給食・☆型のハンバーグ こばたけ保育所

の備蓄である。

平成26年度に開催した第2期神石高原町立病院事業基本計画策定委員会において、新築・移転の方向性を確認している。

松本 町立病院も、全体的に老朽化が進んでいるので、部分的な改築では対応できないと思う。早急に結論を出すべきだ。

町長 平成27年度から病院改革検討委員会を立ち上げ、将来の町立病院の在り方と適正規模について協議を重ねている。

松本 最近の入院患者の減少や利用者の減少など、多くの課題があると思うが方針を早くと示して欲しい。

町長 医療・福祉の分野は目まぐるしく状況が変化している。地域医療構想も出ている。

昨年の入院患者の減少による収益の減少等の状況も踏まえ、平成28年度中には病床数の検討を進め複数の試算を出したい。

十分に検討を重ね間違いない選択をしたい。

⑩ 災害危険カ所とその対策は

緊急傾斜地崩壊危険区域の指定は2カ所

松本Ⅱ梅雨に入り、台風のシーズンを迎え大雨・集中豪雨などの災害が心配されるが、具体的に、土石災害・土石流・落石などの危険箇所をどのように把握し、その対策は。

町長Ⅱ本町では、急傾斜地崩壊危険区域は2カ所指定されている。土石流危険渓流は、151渓流、地すべり危険カ所が、2カ所、急傾斜地崩壊危険箇所が、776カ所である。

これらの地域については、



土石災害・小野東城線

県が年1回土石災害危険カ所のパトロールを実施している。**松本Ⅱ**町としての取り組みと指定された地域の住民への周知は。

建設課長Ⅱ指定された地域へは、看板を設置して周知し、注意を呼び掛けている。

松本Ⅱ土石災害などで大きな効果があるのは、砂防堰堤だが、現在砂防堰堤の必要な箇所は何カ所か。

その中で補助事業として要望している箇所と実施計画は。

町長Ⅱ広島県が土石災害防止法に基づいて区域指定の基礎調査を5小学校区毎に実施している。

昨年度から、来見学区坂瀬川地区を実施している。本年度は、来見学区の残り三和学区が調査予定。

神石学区は、平成29年度
油木・豊松学区は平成30年度の予定である。

工事については、広島県が策定した「ひろしま砂防アクションプラン2016」

日本で唯一 県庁所在地にある島根原発



島根原子力館より島根原発を望む

島根原発・災害時の避難受け入れは

松本Ⅱ島根原発に事故があった時は、広島県内に約17万人を受け入れることになっている。その内、本町には松江市いんべちよ忌部町の住民を受け入れるようになっているが、その受け入れ体制はどうなっているのか。

町長Ⅱ島根県で策定された「原子力災害に備えた島根県広域避難計画」による避難体制が示されている。

その中で、本町への避難地域の指定は、松江市忌部町の2,190人となっている。

本町では、避難経由として「帝釈峡スコープ高原神石」スモートム駐車場」を指定している。受け入れを行った後に、総合交流センター神石の

里・油木体育館・豊松多目的体育館・高養体育館・三和公民館へ分散して避難して頂く事になっている。避難者の受け入れのための、寝具や食料品の備蓄は行っていない。

松本Ⅱ広域避難の協定書では受け入れ自治体には負担をかけるないようにしているが、

島根県及び松江市と広島県、そして本町との具体的な協議はどのようになっているのか。**町長**Ⅱ広域避難計画については、平成23年5月に島根県知事から広島県知事に直接協力要請があった。

平成24年11月に島根県が広域避難計画を作成し、その後平成26年3月に松江市が広域避難計画を作成している。

そして平成26年5月28日に島根県知事と広島県知事が「原子力災害時における広域避難に関する協定」を締結。その後、広島県が各市町に割り当てたものである。

島根原発の近くに活断層

島根原発から南側約2kmの所に活断層があります。この活断層は、島根原発が建設された当初は、中国電力は「無い」と言っていました。活断層が短時間で伸びる訳はありませんが、これまで中国電力は、22kmと主張していた活断層の長さ（を）で、25kmに延長した事を認めています。



とまと出荷式

販売額 4億円を目標

7月5日に「豊」とまとの2

年度出荷式が、「とまと選果場」前で行われました。

今年は、天候の関係で生育が少し遅れているため、例年より少し遅れての出荷式となりました。

出荷の後、本年度の第1便が、4kg入りのケースを75ケース積みこみ、大阪・広島・福山の市場に向け出荷しました。

今年度の目標は、

総出荷量 1,250ト

販売総額 4億円です。

出荷式の後、出荷協議会会長 井上 彰氏)の総会が開かれ、出荷規格や、集荷日程等が協議されました。

又、各市場関係者から、本年度の状況について説明を受けました。目標が達成できるように頑張ってください。

BINGOフェスティバルが開催

神石牛・神石高原ポーク・しゃも地鶏 等販売

7月2日～3日、福山市市政施行100周年を記念してローズコムと中央公園において第2回福山博覧会とBINGOフェスティバルが開催され、福山市を中心とした6市2町の備後圏域連携協議会がそれぞれの特産品の販売と市町PRを行いました。
a 神石高原町からは、ninn 神石高原を中心に神石牛を



はじめ、しゃも地鶏・神石高原ポーク・こんにやく等を販売しました。

ステージPRでは夏の避暑地や、森林セラピーなどを紹介。

神石牛生産者の有志によるサイコロステーキの実演販売も行われ、大変好評で早々と完売しました。

高橋尚子さんと一緒に走りました

鳥取・鵜の池マラソン

6月12日、鳥取県日野町で行われた「鵜の池マラソン」に今年も参加し、6・9km区を完走しました。タイムは38分40秒と平凡でした。

今年は、ゲストランナーに、愛称Qちゃんと呼ばれている「シドニーオリンピック」の金メダリスト高橋尚子さんが招待され、6・9kmのコースを一緒に走りました。

この大会は、日野町の実行委員会の主催で毎年行われます。

ですが、今年は20周年記念で、高橋尚子さんが招待されました。今までスポーツ界では、松野明美・舞の海・有森裕子・千葉直子・木村和司さん等、芸能界では、猫ひろし・デンジャラス等、毎年豪華なゲストを招待されています。

日野町は、人口3,600人余りの町ですが、本当に良く頑張っています。神石高原町も、もっとできる事があるのでと改めて感じました。



小・中学生を指導する高橋尚子さん



神石高原町から3人参加

